

3 国際コンペ 初のダブルゴールド受賞

18 つがるファイナリー サクラアワード 2026 受賞報告

つがるファイナリーの木村洋文社長らが相川町長を訪ね、アジア最大のワインコンペティション「第13回サクラアワード2026」で、最高賞に次ぐダブルゴールド賞を初めて獲得したことを報告しました。

サクラアワード2026は、日本のワイン業界で活躍する女性430名が審査するコンペで、今回は37カ国3715点の応募があり、ダブルゴールド賞は274点、日本で選ばれたのは16点となっています。

ダブルゴールドを受賞したワイン「縄文の奇跡2024」は地元産のスチューベンを使用し、三内丸山遺跡の地層から採取した酵母「三内丸山ユメカモス」を使って醸造。縄文の奇跡は2年連続でゴールド賞を獲得しており、今回は初の試みとして樽ではなくステンレスタンクに詰めたワインを出品しました。同ワイナリーはこのほかに、地元スチューベンを使ったロゼワイン「花魁2024」でシルバー賞も獲得しました。

醸造担当の藤井大樹さんとともに町長室を訪ねた木村社長は「扱いの難しい天然酵母をコントロールし、雑味のないワインに仕上げるいい人材（藤井さん）が関わってくれてよかった。スチューベンを作り続けてきた町農家の方々のおかげで素晴らしいワイン造りにつながった」と話していました。



相川町長に受賞報告をした木村社長（左）と藤井さん（右）

3 アドラー心理学で人生を幸せに生きる

24 令和7年度 鶴田町自殺対策講演会

町ではこころの健康づくりや自殺対策に関する取り組みの一環で、自殺対策講演会を毎年開催しています。今年度は、アドラー心理学講師の高橋愛子氏をお招きしました。

講演では、「人はどうすれば幸せに生きられるのか」というテーマを軸に、アドラー心理学の基本的な考え方である「自己受容」や「勇気づけ」、「行動の目的」などについて、日常生活の具体例などを交えながらわかりやすく解説。また、悩みを1人で抱え込まず、周囲とつながることの大切さについても触れられ、会場全体が温かい雰囲気になりました。講演を通して、自分自身や身近な人のこころを大切にする視点を学ぶ機会となりました。



国際交流会館で行われた自殺対策講演会のようす



2023年4月から3年間、町内の皆さまには大変良くいただき、心より感謝申し上げます。町の企画交流課に所属し、毎日の朝礼の後、町内事業所の事業継続・承継に向けた経営内容の整備にあたりました。大都市圏での特産品販売や取引業者様との交渉を通して、当町の現状を把握することに努めました。

特産ぶどうスチューベンの栽培に1年を通して関わったことで、季節ごとの農家の生活を垣間見ることができました。

直近の1年間は、廃校グラウンドのねぶた期間限定キャンプ場運営、熱気球の体験搭乗の実施、そして移住者が気軽に集まる「移住者カフェ」の実施など、廃校活用とイベント企画による楽しみの提供に努めました。今後は鶴田町の観光振興に尽力したいと考えております。



▲期間限定のキャンプ場
◀熱気球の体験搭乗



Facebook



Instagram

地域おこし協力隊の活動内容は、各種SNSでも確認することができます。



任期を終えた毛利さんと葛西さん夫妻に感謝状が贈られました

31 任期を終えて 新たなスタート 地域おこし協力隊退任式

地域おこし協力隊として活動してきた毛利精悟さん、葛西忍さん、あゆみさん夫妻が3年間の任期を満了しました。

毛利さんは「商工業者の事業承継支援」「町の魅力発信およびプロモーション」をミッションとして、町の活性化に尽力してくれました。退任後は「地域プロジェクトマネージャー」に就任し、観光振興に取り組む予定です。

葛西さん夫妻は「スチューベンの振興」をミッションに、スチューベンの振興と将来的な就農を目標にスチューベン栽培に取り組んでいました。退任後はぶどう農家として就農予定です。

新たな教育長に竹浪誠也氏が就任

健康上の理由で任期途中で退任する山本真規子氏の後任として、竹浪誠也氏が新たな教育長に議会の同意を得て任命されました。竹浪教育長の任期は令和8年4月1日から1年間です。

就任のごあいさつ

突然の人事に戸惑いつつ、今日まで育て支えてくれた鶴田町に少しでも恩返しができるかと思い、引き受けました。「教育に近道なし」。一日一日、わずかでも前に進むことを心がけたいと思います。当たり前のことを確実に成し遂げていくこと。「進歩」を旨に頑張りますので、よろしくお願いいたします。

趣味、俳句・一人旅・クラシック音楽鑑賞・日曜大工。長嶋命・好きな歌手大貫妙子。すべて人生の友であります。



竹浪誠也教育長

- 竹浪誠也教育長の略歴 -

昭和49年4月	大畑町立大畑小学校	教諭
55年4月	岩崎村立岩崎小学校	教諭
58年4月	五所川原市立沖飯詰小学校	教諭
60年4月	弘前大学教育学部附属小学校	文部教官教諭
平成 3年4月	青森県教育庁指導課	指導主事
9年4月	板柳町立沿川第一小学校	教頭
13年4月	五所川原市教育委員会指導課	主任指導主事
15年4月	五所川原市立一野坪小学校	校長
16年4月	五所川原教育委員会指導課	指導課長
19年4月	五所川原市立中央小学校	校長
24年3月		定年退職

鶴田町・フッドリバー市

姉妹都市50周年フォトコーナー

令和9年7月27日、鶴田町とフッドリバー市は姉妹都市盟約締結50周年を迎えます。これを記念して、今月号から全21回にわたり、50周年を祝う町の方々の写真を掲載します。



姉妹都市締結50周年を祝う相川正光町長

Hood River News

フッドリバー市からの国際交流員シェリーさんがフッドリバー市のイベントや文化を紹介！

先月、鶴田町から中学生大使がフッドリバー市を訪問しました。また、フッドリバー市からも2年に一度、子どもたちが鶴田町を訪問する機会があります。

そのため、フッドリバー市では鶴田町への訪問を希望する子どもたちのために、資金を集めるチャリティーイベントを開催しています。

イベントでは、チャリティーオークションを行ったり、日本の伝統料理を楽しんだりします。フッドリバー市と鶴田町の人々の協力を通して、今後も交流が長く続いていくことを願っています。



@TSURUTA_CIR
国際交流員の活動